

科目名		演習Ⅱ（憲法）	
担当教員	荒牧重人	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	水曜・2時限	開講年次	2年
到達目標	①修士論文の作成 ②そのためにも、テーマ設定、仮説の提示、論文構成・展開、結論の明示等ができるようにするとともに、プレゼンする力を養成します。		
授業概要	演習Ⅰを踏まえ、修士論文の仕上げに向けて、先行研究の整理、テーマ設定、仮説の提示、論文構成・展開、結論の明示等について、具体的に報告してもらい、討論します。そして、修士論文を完成させるべく、個別指導も行ないます。また、修士論文の審査も意識して、プレゼンのあり方や内容についても検討します。 なお、演習ですので、受講生の要望や意見によって授業内容は変更しますし、演習Ⅰと合同で実施する場合には授業内容の順序を入れ替えたり、比重の置き方を変更したりします。		
授業計画			
回数	内容		
第1回	オリエンテーション		
第2回	論文の書き方・仕上げ方、プレゼンの仕方について その1		
第3回	論文の書き方・仕上げ方、プレゼンの仕方について その2		
第4回	修士論文研究計画の報告と討論 その1		
第5回	修士論文研究計画の報告と討論 その2		
第6回	修士論文研究計画の報告と討論 その3		
第7回	先行研究と研究テーマ・仮説等について報告と討論 その1		
第8回	先行研究と研究テーマ・仮説等について報告と討論 その2		
第9回	先行研究と研究テーマ・仮説等について報告と討論 その3		
第10回	修士論文の「序説」の検討 その1		
第11回	修士論文の「序説」の検討 その2		
第12回	修士論文の「序説」の検討 その3		
第13回	修士論文の構成・展開の検討 その1		
第14回	修士論文の構成・展開の検討 その2		
第15回	修士論文の構成・展開の検討 その3 前期のふりかえり		
第16回	修士論文を仕上げていくにあたって		
第17回	修士論文の進展状況の確認と課題の整理 その1		
第18回	修士論文の進展状況の確認と課題の整理 その2		
第19回	修士論文の進展状況の確認と課題の整理 その3		
第20回	修士論文における分析・考察（結論）の検討 その1		
第21回	修士論文における分析・考察（結論）の検討 その2		
第22回	修士論文における分析・考察（結論）の検討 その3		
第23回	修士論文の仕上げに向けて その1		
第24回	修士論文の仕上げに向けて その2		
第25回	修士論文の仕上げに向けて その3		
第26回	修士論文の報告 その1		
第27回	修士論文の報告 その2		
第28回	修士論文の報告 その3		
第29回	修士論文の審査に向けて		
第30回	まとめとふりかえり		
準備学習等 （課題・予習・復習・調査等）	修士論文を仕上げるのが目的ですので、そのために必要な準備等について適宜示します。		

評価方法・基準 ・講評の方法	演習での報告（70%）、討論（30%）で、総合評価します。 講評については、メールや口頭で個別に「力」がつくよう対応します。
テキスト・参考書	特に使用しません。適宜、資料を配付したり、文献等を紹介したりします。
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	報告と討論とコメントを組み合わせで展開します。 受講者の主体性が活かせ、かつ双方向になるように内容や進め方等を工夫します。
学生への メッセージ	修士論文の作成は研究能力や論文執筆能力の進展に大きく寄与します。時間と労力をかけて取り組んでください。あなたを必ず変えることにつながるでしょう。
授業に参考と なるサイト	適宜紹介します。
関連する画像	
その他・備考	